

令和元年度 県立名護商工高等学校 学校評価（自己評価・学校関係者評価）

No.1

1 教育目標	①すぐれた知性の育成（知育） ②ゆたかな心の育成（徳育） ③たくましい体の育成（体育） ④地域を担い、地域を創生する人材の育成（地域人材）
2 学校経営方針	①働きがいのある風通しのよい職場づくりを進め、チーム学校として学校課題の解決を図る。②安心・安全な教育環境を基盤として、社会的・職業的自立に必要な資質・能力及び地域社会の創り手として自覚・態度の育成を図る。③生徒・保護者・地域の期待に応え、信頼される学校づくりを進める。

重点取組事項	評価項目	自己評価	令和元年度の課題等	学校関係者評価	学校関係者からの次年度に向けての要望等
1 チーム学校体制の確立	(1) 学校重点目標について学校全体で共通理解され、達成に向けた取り組みが着実に進められている	A	・業務改善等、働き方改革をさらに推進する必要がある。	A	
2 特別支援教育体制の充実	(2) 特別な支援が必要な生徒の学習を指導・援助する校内体制（校務分掌や内規など）が整備されている	B	・特別な支援が必要な生徒の指導や支援に適切な内規の整備が必要である。	A	・生徒への支援や指導の取り組みはとて強く感じる。次年度に向けても継続的にお願いしたい
	(3) 特別な支援が必要な生徒の発達を支えていくという視点を学校全体で共有し、指導や支援が組織的・継続的に進められている。	A			
	(4) 教師は生徒の特性や発達上の課題をよく理解し、支援員との連携や関係部署との情報共有など学習指導の工夫を行っている	A			
3 授業改善の推進	(5) 補習や課外講座等による個に応じた指導を行い、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図っている	A	・学業面における成績優秀者数の推移及び単位未修得者数の推移から良好な傾向が見られるが、生徒一人一人の学習課題及びニーズの把握に努める必要がある。 ・資格取得等の専門教育指導の充実については高い評価平均(3.5)であり、今後も継続した取組を期待したい。	A	・資格取得や専門分野の充実した取り組みを（各学科）感じる。
	(6) 主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を行っている	B			
	(7) 各種資格・検定の取得を奨励し、専門教育指導の強化を図っている	A			
	(8) 授業では一方的な説明だけでなく生徒同士の話し合い活動や発表などを取り入れている	B			
4 学校安全及び教育環境整備の推進	(9) 学校の環境は、安全で健康的なものとなっている	A	・生徒送迎による車両構内乗り入れをテニスコート側の駐車場に整備することで安全性の向上が見られるが、今後も地域・保護者の協力が必要である。	B	・生徒アンケート結果の教室・トイレの評価が低いのが気になります。 ・安全面をとて配慮していただいていることに感謝する。 ・校内の車両乗り入れ禁止を継続してお願いしたい。 ・除草作業が行き渡っていないことがわかりました。PTA・生徒と共に除草作業を見えていなかった所まで行って欲しい。 ・放課後正面から車両をり入れて、生徒を迎える保護者が未だ見られる。
	(10) 校内の施設・設備は常に点検・整備が行われている	A			

※ 評価基準 A:ほぼ達成（8割以上） B:概ね達成（6割以上） C:変化のきざし（4割以上） D:不十分（4割未満）

令和元年度 県立名護商工高等学校 学校評価（自己評価・学校関係者評価）

No2

重点取組事項	評価項目	自己評価	令和元年度の課題等	学校関係者評価	学校関係者からの次年度に向けての要望等
5 キャリア教育・進路指導の充実強化を図る	(11) 進路相談・個別指導の充実や進路情報の収集・提供など進路指導が強化されている	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者からPTA総会・三者面談時に進学に係る費用及び奨学金等の進路相談があった。今後も適宜、計画的に情報発信に努める必要がある。</li> <li>次年度からスタートするキャリアパス制度について十分な準備が必要である。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路相談室が充実されている感じがする。</li> <li>保護者の声を大切に奨学金、進路相談、情報発信を大切にしてもらいたい。</li> <li>18歳成人について、早めに学校側の対策が必要だと思う。規程の改定など急務である。</li> </ul>
	(12) キャリア教育の充実により望ましい職業観・勤労観の育成に努めている	A			
	(13) 学校は生徒・保護者がいつでも進路相談に行ける雰囲気である	A			
6 生徒指導・教育相談の充実強化を図る	(14) 全体集会、講話、巡視、個別指導等を通して、基本的な生活習慣の確立と心の教育の充実を努めている	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>規範意識に関して生徒と保護者・教職員の評価にズレが生じている。挨拶や相手を思いやる心の育成等、人権教育の充実を努める必要がある。職員研修を実施する。</li> <li>R01年度交通事故が1件発生し、交通安全指導の更なる徹底を図る必要がある。</li> <li>勤怠指導の在り方について検討が必要である。</li> <li>情報モラルに（SNS等）に関する指導内容・方法等について検討が必要である。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>大麻に関すること、SNSに関する指導の継続。</li> <li>薬物関連について、沖縄県は他県より深刻であるとの調査報告がある。今まで以上に啓発活動をお願いしたい。生徒だけでなく保護者（先生）対象の講座（沖縄県警）もあるので活用してもらいたい。</li> </ul>
	(15) 規範意識の醸成と挨拶や相手を思いやる心の育成等の指導が行われている	B			
	(16) 生徒たちの安全意識の向上や交通安全指導が行き届いている	A			
	(17) 学校は体罰のない学校づくりに取り組んでいる	B			
	(18) 学校は生徒の暴力や暴言のない学校づくりに取り組んでいる	B			
	(19) 担任、教育相談係、関係部署で連携し、教育相談の充実を努めている	A			
	(20) 学校はいじめを防ぐために、行事や講話などの取組を行っている（いじめの未然防止）	A			
	(21) 学校は日頃から、いじめを相談しやすい雰囲気づくりやアンケート調査、声かけなどを行い、いじめの早期発見に努めている（いじめの早期発見）	A			
	(22) 学校は、いじめが発生した場合、すぐに被害者を保護し、いじめの事実確認などいじめの解消に向けた対応を行っている（いじめの早期対応）	A			
	(23) いじめの発見・通報を受けた職員は直ちに管理者に報告するなど、いじめの解消に向けて法令等に基づき組織的に対応している（いじめ関係法令の遵守）	A			
			<ul style="list-style-type: none"> <li>R01年度いじめ案件は12件で、早期発見、早期対応により問題解消に近づいた。今後は未然防止の取組充実を図る必要がある。</li> <li>保護者の家庭状況及び経済的事情により、就学困難な生徒が存在し、関係機関と連携した支援が必要である。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめについての対応、早期発見、日頃の生徒への指導も適正にしていってほしい。感謝する。</li> <li>今の時代のいじめ方が見えないSNS等ソーシャルネットワーク上でいじめが多く感じられる。すぐに対応している先生方に感謝する。迅速な対応をお願いしたい。</li> </ul>

※ 評価基準 A:ほぼ達成（8割以上） B:概ね達成（6割以上） C:変化のきざし（4割以上） D:不十分（4割未満）

令和元年度 県立名護商工高等学校 学校評価（自己評価・学校関係者評価）

No3

重点取組事項	評価項目	自己評価	令和元年度の課題等	学校関係者評価	学校関係者からの次年度に向けての要望等
7 豊かな心と健やかな体を育む教育活動の充実	(24) 部活動の活性化を図り、豊かな人間形成に努めている	B	・部活動に係る活動方針に基づいた指導の徹底	B	・文化系部活動の校内発表会等に地域住民も案内したかどうか。 ・職員の働き方と部活動とのバランスが困難になっているかと思う。
8 特別活動等の充実強化を図る	(25) 生徒の自主的運営による行事を実施している	B	・朝のあいさつ運動など生徒の主体的な活動により学校行事等の内容充実に期待したい。	B	・自主的運営 ・生徒への理解（保護者へも）を求め、適生な環境作りに努めてもらいたい。
	(26) 学校行事等で帰属意識、公共の精神、社会性を育成している	A			
9 学校広報活動の充実を図る	(27) 中学校への広報活動を充実させている	A	・HPIにて入試関連資料や生徒活躍等の情報を発信できた。次年度も適宜、より有効的な情報発信に努める必要がある。	A	・学科改編にした科で志願者数が少なかったことは一考を要する。中学校への広報活動に時間をかけ、早い時期から取り組んでもらいたい。 ・ホームページの更なる充実
	(28) 学校ホームページや校門前掲示板等で広報活動を充実させている	A			
10 地域から信頼される学校づくりを推進する	(29) PTA評議員会の定期的開催と、地域情報交換会や夜間巡視へ積極的に参加している	A	・PTA総会及び評議員会の参加率向上に努め、保護者の意向を学校運営に反映する必要がある。	A	・地域の広報誌等に学校の主な月行事を掲載してもらおうと地域住民にもっと開かれた学校になるのではないかと。 ・次年度からPTA行事の見直し等で更に学校へたくさんの保護者が足を運んでもらいたい。 ・PTAの集まりが少ない（総会等）もう少しPTAが集まりやすい環境を共につくりたい。
	(30) 保護者・地域住民、学校評議員会の意向を学校運営に反映させ、開かれた学校づくりを進めている	A			

※ 評価基準 A：ほぼ達成（8割以上） B：概ね達成（6割以上） C：変化のきざし（4割以上） D：不十分（4割未満）